

自昭和十八年九月一日第三段作戰戰鬪詳報

第十八航空戰隊

## 一、形勢

(一) 八月伊國ハ樞軸側ヲ脱落シ反樞軸軍ハ地中海ノ制海・制空ヲ完全ニ掌握シ印度洋方面ニ大兵力ヲ轉用集中可能トナレリ。緬甸方面雨季明ケタル十月末ヨリ十一月頃ヲ目途トシテ印緬國境方面ノ敵反攻企圖ハ漸ク大ナラントシ之ニ關聯シテアンダマン・ニコバル、スマトラ方面ノ情況又嚴重警戒ヲ要スルモノアリ

(二) 南西方面艦隊航空兵力ハ從來ニ三三三航戰及八五一空ハ他ニ對潛警戒部隊アリノミナリシ處七月十五日附三三三空編成主トシテ印度洋正面作戰ニ從事セシメラレ更ニ九月一日附三三三空戰隊編成セラレ八五一空、三三三空及新編成ノ五五一空ヲ之ニ編入セラレ專ラ印度洋方面ニ備ヘテ敵情ニ應ズルノ態勢ヲ強化セラルルコトナレリ

九月五日附第二八航空戰隊及第三三航空戰隊ヲ以テ第十三航空艦隊ヲ編成セラル(南西方面艦隊ニ編入)

### 二 任務、企圖

(一) 軍隊區分 南西方面部隊 第三基地航空部隊 西部空襲部隊

(二) 主要任務 西方面ニ於ケル航空作戰ノ全般

内地防空、配備基地附近ノ交通保護

(三) 作戰計畫要綱

(イ) 速ニ各航空部隊ノ編制、配備ヲ了シ、戰力ノ向上ヲ圖ル

(ロ) 西方面ニ現在迄ニ大航空兵力ノ展開セルコト無ク、航空基地

施設、燃彈集積等不充分ナルヲ以テ速ニ之ガ充實ヲ圖ル

(ハ) 敵ノ進攻ニ備フ

(ニ) 作戰準備